

© ACG プレスリリース
- 展覧会開催のご案内 -

川島慶樹 「Twiggy Project」 Keiju Kawashima: *Twiggy Project*



[左]《Twiggy》(部分)
2016-2018 | ステンレス、ガラス、LEDライト
[右]《Twiggy snip lamp》
2018 | ステンレス、ガラス、LEDライト | 45x50x20 cm
撮影: 齋城卓

アートコートギャラリーでは、彫刻家・川島慶樹の新作個展「Twiggy Project」を開催します。

ステンレスの細枝にガラスの花が光り、華奢なシルエットが魅力の《Twiggy》(2016-)は、人と出会い旅をするために作られた彫刻作品です。《Twiggy》を抱えてギャラリーにやって来た作家は、展示空間を器にし、花を生けるように配置しながら作品に生命の息吹を与えます。その場所に生まれるさまざまな関係性、交流や絆を頼りに次の目的地を獲得し、作家は作品と旅を続けていくプロジェクトを計画。すでにスペインとイタリアには《Twiggy》の来訪を待つ人々がいます。

この「Twiggy Project」の幕開けとして、本展では30本すべての《Twiggy》を中庭空間に生け、群生する満開の光の花々で、皆様の来訪をお待ちします。また、展示室内では、切り花をイメージした《Twiggy snip lamp》や絵画とともに、最新作の数々をご紹介します。

複数の要素の特性から生まれる物理的な制約によって、全体の造形が影響を受け、形態が変化していく。
細部の着想が全体の構想を支配しているような感覚を好んで模索している。

————— 川島慶樹

川島慶樹は1980年代より「アート・ナウ」や「サントリー美術館大賞」などに選出され、異素材を組み合わせた有機的なフォルムの大型抽象彫刻で関西ニューウェーブの新進気鋭として高い評価を受けました。素材や環境上の制約を、川島は新たな発見や造形展開の好機として捉え、むしろ挑戦する姿勢で制作を続けてきました。石、木、ガラス、金属(ブロンズや鉄)のクラシックな彫刻素材に加えて、2000年以降はカラフルなポリエチレン素材を取り入れ、近年ではステンレスとガラスを組み合わせた原始植物や未知の生命体をモチーフにしたシリーズで作品を展開させています。

約30年に渡りさまざまな素材からつくり上げていく中で、人や場所との関係性が作品と共に築かれていく状況にさらなる可能性を見出し、川島は2016年より「Twiggy Project」の構想を始めました。「作品に旅をさせること」をコンセプトに、枝と花のパーツはコンパクトに運べるように、また空間に合わせた展示の柔軟性をも実現できる独自の設計を追求し、実際に制作し展示も行いながら《Twiggy》の改良を重ねてきました。川島は《Twiggy》を、美術に特化した場所に限定せず、街の一角や山中の奥地まで、世界中の至る場所で愉しめる作品とすることを計画しています。現実世界の中に美術の存在する場を広げて旅立つ、川島慶樹の飽くなき挑戦が始まります。

【展覧会概要】

題名: 川島慶樹「Twiggy Project」

会期: 2018年11月6日(火)~12月8日(土) * 日・月・祝 休廊 11:00~19:00(土曜日17:00まで)

会場: アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

◆関連イベント: 11月17日(土) 15:00~17:00

レゼプション&川島慶樹作品集『Twiggy Project + 1984-2018 Works』(仮)出版記念会

◆同時開催

◇ジャウム・アミゴー「A Background Sound」

会期: 2018年11月6日(火)~12月8日(土) * 日・月・祝 休廊

会場: アートコートギャラリー

◇OAP彫刻の小径 2018-2019 ジャウム・アミゴー/川島慶樹「オーガニック・パラダイス」

会期: 開催中~2019年10月

会場: OAP彫刻の小径(OAP公開緑地内)

主催: アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) 協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [灰田・浜田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com Website:www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース
- 展覧会開催のご案内 -

川島慶樹 Keiju Kawashima

1962 大阪府生まれ
1984 大阪芸術大学美術学科彫塑卒業

主な個展

2017 始弘画廊(東京)[15]
2016 「Twiggy project」SIO gallery(大阪)
ギャラリーモーニング(京都)[11, '10]
ギャラリーエスプリ・ヌーボー(岡山)[10, '08, '06, '02, '01]
Gallery idm(釜山、韓国)[14]
2015 山木美術(大阪)[07]
2013 ギャラリー プチボア(大阪)
2011 番画廊(大阪)[03, '01, '00, '98, '93, '91, '90, '88, '85]
2010 GALERIA PAQUI DELGADO(サン・サドゥルニ・ダノヤ、スペイン)
「in my studio」奈義町現代美術館ギャラリー(岡山)
2009 Quiosc Gallery(トレンプ、スペイン)
2001 Galeria Principal Sombrerers(バルセロナ、スペイン)
1999 Galeria Principal Montcada(バルセロナ、スペイン)
1995 「第1回 おおさかパブリックアート賞受賞者展」サクラアートミュージアム(大阪)
1986 ギャラリー白(大阪)[84]

主なグループ展

2017 「Busan Annual Market of Art」(釜山、韓国)
2015 「THE 33rd KOREA GALLERIES ART FAIR」(ソウル、韓国)
「Busan Art Market Affair 2015」(釜山、韓国)
2007 アートフェア「SOFA NEW YORK」(ニューヨーク、USA) [ARTCOURT Galleryより出展]
アートフェア「SOFA CHICAGO」(シカゴ、USA) [ARTCOURT Galleryより出展]
2005 「MUSEUM LABORATORY 2005」海岸通ギャラリー・CASO(大阪)
2004 「It's the season to be Jolly」YOSHIKO MATSUMOTO GALLERY(アムステルダム、オランダ)
1993 「美術の中のかたち」兵庫県立近代美術館
「第1回画廊の視点 '93」大阪府立現代美術センター
1991 「美術の現在—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展」(和歌山県立近代美術館)
1990 「作法の遊戯—90春・美術の現在 第1期」水戸芸術館現代美術ギャラリー(茨城)
「アート・ナウ」兵庫県立近代美術館 [88, '87]
1989 「サントリー美術館大賞展 '89」サントリー美術館(東京)

主な作品設置

2016 ザ・リッツ・カールトン東京 クラブラウンジ
紀尾井町レジデンス(東京)
グランドプリンスホテル新高輪 エントランス(東京)
2015 Fairmont Hotel Jakarta ロビーラウンジ(ジャカルタ、インドネシア)
2014 汐留住友ビル B1エントランス(東京)
2011 久宝寺メガシティタワー エントランス(大阪)
2010 住友不動産西新宿ビル エントランス(東京)
2005 九州保健福祉大学 QOL研究機構(宮崎)
2003 EL PALAU FALGUER(バルセロナ、スペイン)
守口市西山荘遊歩道(大阪)
1993 心齋橋ビッグステップ 北側(大阪)
1990 富田林市リボン通り(大阪)

パブリックコレクション

サントリー美術館(東京)
和歌山県立近代美術館

◇ 川島慶樹の制作と素材について

複数の素材を意図的に使い、必然的に素材から影響を受けながら作品制作を進める。異なる素材の接合部には、自然の形態から着想を得て細部を決定し、徐々にシルエットを明確にしていく。細部の着想が全体の構想を支配しているような感覚を好んで模索し、新しい素材や素材同士の出会いを求め、技法と表現を多様に広げる。

初期(1980年代～)

レリーフ状の大型作品を多く手掛ける。羽のように薄く切り出した御影石と樺、真鍮を組み合わせた《For Crows & Roses》は、素材の量感を覆す軽やかさと、彫刻・絵画の領域を往来する表現として注目を集める。



* 参考作品
《For Crows & Roses》
1986 | 御影石、樺、真鍮、アクリル

1990年代～

有機的で優雅さを持った作風を求め、柔軟なフォルムに適したブロンズを取り入れる。ブロンズ工房に通い技術指導を受け、自身の技術力を飛躍的に高める。

2000年頃～

スペイン・バルセロナに住む友人をきっかけにポリエチレン素材と出会う。鋳型用に使う用途であったが、この素材を手彫りで削り出し作品にも取り入れるようになる。



* 参考作品 《CLAZY CLASSICS》シリーズ
2006～ | ポリエチレン、木

2016年頃～

ガラス工房での制作環境を得て、ステンレスとガラスを組み合わせたシリーズを展開。「Twiggy Project」を始動。



* 参考作品
《CLASSICS metal I》
2018 | ステンレススチール、ガラス